



富山県

No.72 2014年7月

中央植物園だより



第16回私の植物写真展応募作品「時」 撮影 / 池端真佐子さん

トケイソウ (トケイソウ科)

ペルー、ブラジル原産のつる性の常緑低木で、花の形が時計の文字盤に見えることからこの和名がつけられたようだが、英名の Passion flower は「キリスト受難の花」を意味する。

夏休み子ども企画 「オオオニバスに乗ってみよう」



今年もオオオニバスの季節がやってきました。恒例の夏休み子ども企画「オオオニバスに乗ってみよう」を8月16日(土)～18日(月)の3日間開催します。詳しくは最後のページをごらんください。なお、葉に乗ることができる体重に制限がありますのでご注意ください。



BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

「第42回富山県蘭まつり大会」レポート

平成26年2月28日（金）～3月2日（日）の3日間サンライトホールにおいて「第42回富山県蘭まつり大会」を開催しました。例年この時期に見頃を迎える東洋ランなどの富山県蘭協会会員の371鉢を展示しました。今回は特別展示として、2月中旬に東京ドームで開催された世界らん展でも話題になった「世界初の青いコショウラン」も同時に展示し、多くの来園者の注目を集めました。青いコショウランは遺伝子組み換えによって作り出された

もので、嚴重に管理された状態での展示となりました（写真上段）。



オープン前の蘭まつり会場



ドリアスホールの東洋ラン展示会場

植物地理・分類学会2014年度大会を中央植物園で開催

5月31日（土）・6月1日（日）に植物地理・分類学会2014年度大会が中央植物園で開催され、県内外から約60名の会員が参加しました。初日午後からは表彰式、研究発表が行われ、佐藤卓氏（富山県生物学会副会長）が学会賞を受賞されました。翌日は朝から富山市有峰でエクスカージョンを実施しました。



富山県植物誌の改訂作業についての発表



有峰で佐藤卓氏の解説を聞く参加者

植物園トピックス

園内バスに新車導入



満開のソメイヨシノの下を走行する新型車両

これまで利用してきた園内バスで最も古い車両は平成8年に就航した8人乗りで、老朽化に伴い15人乗りの新型車両導入となりました。第3回さくらまつり初日の平成26年4月10日（木）に出発式が行われ、ピノキオ保育園園児の代表から運転手にキーが渡されて運行が開始されました。これまでさくらまつりなど混雑時には園内バスの待ち時間が長く、多くのお客様にご迷惑をおかけしておりましたが、今年からは若干改善されました。料金もこれまでと同じ小学生以上1人100円です。なお、車両の大型化に伴い、運行は道幅の広いルートに限定されますのでご容赦願います。

研究紹介◎『組織培養による大量増殖には何色の光が有効か

—発光ダイオード（LED）を使った実験』

企画情報課長 神戸敏成

発光ダイオード（LED）照明をご家庭や職場などで利用している人も増えてきていると思います。私が研究を行っている植物組織培養の分野においても盛んに（研究に）利用されるようになってきました。光は植物の成長に最も重要な要素の一つであることから、照明時間や光強度が植物組織培養による大量増殖にどのような影響を及ぼすか、昔から研究されてきました。最近では赤色および青色以外の様々な色（＝波長）のLEDが比較的安価に入手できるようになり、光の波長帯が及ぼす様々な影響についても調べられるようになりました。そこで、中央植物園ではピーク波長が異なる5種類のLEDを用いて、三倍体センノウの腋芽由来シュートの成長に及ぼす光の波長の影響について、富山県立中央農業高校および東京大学と共同で研究を行っています。

実験では試験管内で維持している三倍体センノウの小植物体から長さ1cmの節を切り出し、葉を切除したものを材料として用いました。常用のMS培地が入った直径9cmのシャーレに、10個の節を植え込み、白色LED、青色LED、緑色LED、橙色LED、および赤色LEDの5種類のLEDを24時間連続照射しました。培養3週間後の腋芽が伸びたシュートの長さは、赤色、緑色、橙色、暗黒、青色、白色LED照射区の順に長く、第1節の節間長は、暗黒区で最も長く、白色LED照射区で最も短くなりました。つまり、暗黒、緑色、橙色、赤色LED照射区では腋芽由来シュートが徒長する傾向がみられたのに対し、白色および青色LED照射区では節間が詰まり、比較的健全なシュートに成長したことになります。また、腋芽由来シュートの葉の大きさに関しては、暗黒条件を除くと、赤色LED照射区で最も大きく、橙色LED照射区で最も小さくなりました。葉の大きさに関しては、他の植物では異なる結果が得られており、異なる波長帯の光に対する植物の反応は植物種によって様々なようです。

これまでの結果から、三倍体センノウでは白色LED照射下で培養すると最も健全なシュートが得られると考えられますが、組織培養による増殖を行う場合には、節間が長い方がシュートの切り分け作業がし易いと考えられます。したがって、緑色や赤色光の照射LED照射下で培養したシュートを継代に用いた後、白色LED照射下で培養するなど、増殖段階によって波長帯が異なる光を用いることにより、生産性が向上される可能性があると考えています。

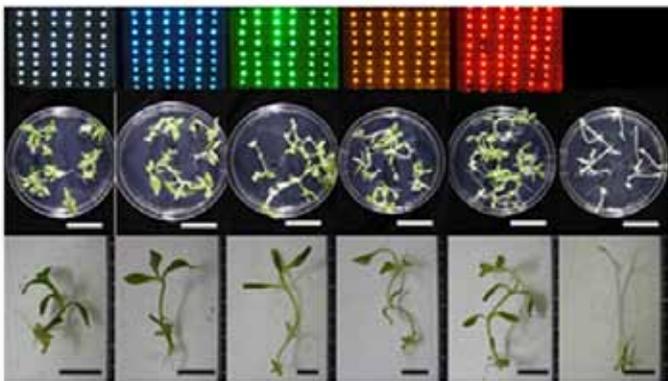


図 異なる波長帯の光が三倍体センノウの腋芽由来シュートの成長に及ぼす影響。左から白色LED（460nmのピークに加え560nmのなだらかなピークがある）、青色LED（470nm）、緑色LED（525nm）、橙色（590nm）、赤色LED（625nm）、暗黒。上段：使用したLEDの照射状況。中段：培養3週間後、白線は3cm。下段：培養3週間後の腋芽由来シュート、黒線は1cm

植物園の月例行事と講習会 その1 植物ガイド

今年度は植物園で定期的に行っている講習会や月例行事を紹介します。今回は植物ガイドです。

昨年まで日曜植物ガイドとして実施していましたが、今年度から名称を「植物ガイド」と改めて、第1、第2、第4日曜日はボランティアもしくは職員が、第3日曜日は園長が、その時の見頃の植物を中心に解説を行います。来園者すべての方への解説は対応が難しいために、週に1日でも解説が聞ける日を設けようと思われました。



ガイドボランティアの2人は10年以上解説されており、園内のどこでも何が咲いているかよくご存知です。



第1回目の「園長と歩く植物園」の解説風景(4月20日)。最初ということもあり、約30名の方が参加されました。

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール
企画展には入園料が必要です。

私の植物写真展
6月13日(金)～7月16日(水)

食虫植物展
7月11日(金)～7月30日(水)

夏休み子ども企画 森のクラフト
7月18日(金)～8月31日(日)

くすりの植物コーナー開園1周年記念
展「売薬版画」
9月5日(金)～10月29日(水)

■夜間開園
ゲッカビジン観賞
6月～7月の開花日2日間
19:00～21:30
料金/250円

オオオニバス観賞会
8月22日(金)・23日(土)
18:30～21:00
料金/250円

■講座・講習会
★染色体観察法 ◆要申込
8月6日(水)
13:30～16:00
会場 実習室

夏休み子ども企画
オオオニバスに乗ってみよう
8月16日(土)～18日(月)
対象 小学生、幼児
受付時間 9:00～11:00
13:00～15:00

★記念展「売薬版画」解説
9月7日(日)・10月5日(日)
13:30～15:30
入園料が必要です。

■月例行事
月例行事には入園料が必要です。

緑のコンサート
7月5日(土)、8月2日(土)、
9月6日(土)、10月4日(土)
14:00～15:00

植物ガイド
ーボランティアと歩く植物園ー
第1,2,4日曜日 13:30～14:00
ー園長と歩く植物園ー
第3日曜日 13:30～14:00
集合場所/サンライトホール

◆要申込 事前の申込が必要です。
申込は1ヶ月前から電話、往復はがき、
FAX、メール (botanic@bgty.org) で
受け付けます。

★印は植物園ボランティアの養成講座です

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日
(4月中とGW、お盆、祝日の場合は開園)
年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生)500円
団体料金(20名以上)400円
高校生以下通年無料
冬期入園料(12月～2月)
大人(一般および大学生)300円
団体料金(20名以上)240円
高校生以下通年無料
年間パスポート(購入日より1年間有効)2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファボーレ」経由萩の島循環または「ファボーレ」
経由速星行き(休日のみ)に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市
中心部より車で約15分/北陸自動車道富山イ
ンターより車で約15分/ JR速星駅より車で約
8分